

令和8年度 第1回金沢市食品ロス削減推進協議会

日時 令和8年5月20日（水）14:30～16:00

場所 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2202 会議室

次 第

1. 開会

2. 議事

（1）令和7年度食品ロス削減推進事業報告 【資料1】

（2）令和8年度食品ロス削減推進事業計画（案） 【資料2】

3. その他

4. 閉会

金沢市食品ロス削減推進協議会 委員名簿

令和 8 年 4 月 1 日現在
(順不同、敬称略)

氏名	所属
池本 良子	金沢大学 名誉教授
今井 喜久子	市民（公募）
上田 久美子	金沢市校下婦人会連絡協議会 副会長
鍛冶 一雄	石川県スーパーマーケット連絡協議会 代表幹事
楠部 孝誠	認定 N P O 法人いしかわフードバンク・ネット
志賀 嘉子	一般社団法人 石川県食品協会
杉山 朋美	北陸大学薬学部 准教授
高田 成智	金沢商工会議所 常務理事
橘 宏和	市民（公募）
田中 弘美	北陸学院大学健康科学部 教授
中村 明仁	金沢市旅館ホテル協同組合
鍋島 盛雄	石川県飲食業生活衛生同業組合 理事長
林 貴江	石川県生活学校連絡会
平野 愛子	環境にやさしい買い物のまち・かなざわ共創協議会
宮野 義隆	石川県農業法人協会 常務理事

(15 名)

委嘱期間 令和 9 年 3 月 31 日まで

令和7年度 食品ロス削減推進事業報告

基本方針 1 食品ロス発生抑制のための普及啓発

施策（1）暮らしの中での食品ロス削減

①食材使い切り料理教室等の開催

回数：3回（54人） レシピ集 Vol.1～4 を配布

②出前講座（かがやき発信講座）の実施

回数：2回（96人）

③かなざわエコ・スイーツ発信事業の実施

- ・過去のコンテストで募集したレシピを学生が改良（13作品）
- ・レシピ動画制作・発信（X、Instagram、Youtube等）
- ・アレンジレシピ集作成（R6よりデジタルブックに変更）

④食品ロス削減啓発バスツアー開催（8/2）

れんこん圃場・(株)アルビス 視察、クッキング（26名）



食材使い切り料理教室



エコ・スイーツ、バスツアー チラシ

施策（２）若年者、子どもへの周知啓発

①食材使い切り料理教室等の開催（再掲）

親子も対象に開催

②食品ロス削減啓発バスツアー開催（再掲）

親子を対象に開催

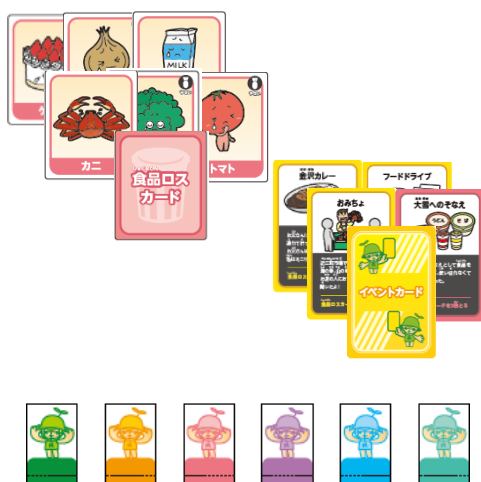
③食品ロス削減すごろくの制作

10 セット 貸出可（HP からダウンロードも可能）

金沢工業大学学生と共同制作、金沢の行事・食文化などを盛り込む

④出前講座（かがやき発信講座）の実施（再掲）

梅光学童クラブ（38 人）



すごろく（アールちゃんと一緒に食ロス0（ゼロ）大作戦）

施策（５）食品関連事業者における食品ロスの削減

①「いいね・食べきり推進店」登録制度（Ｒ元～）

小盛り・ハーフサイズのメニュー設定など食べきりに取り組む市内の飲食店・宿泊施設を「いいね・食べきり推進店」として登録し、意識啓発を図る
毎月１回、市食品衛生協会主催の研修会にて登録を呼びかけ

	R5	R6	R7
店舗数	175	181	184



ステッカー

②アプリ「TABETE」を活用したフードシェアリングの周知

店舗等で売り切れない食品を紹介し、割引価格で提供するフードシェアリングサービスのアプリを出前講座等で周知（運営：(株)コークッキング）

	ユーザー数	参加店舗数	出品数	購入数
R5	6,968	79	23,534	7,789
R6	8,205	74	29,504	8,597
R7	8,903	75	26,495	7,548



アプリ「TABETE」

③小売店との啓発連携事業

スーパー等の小売店と連携した店頭における啓発キャンペーン

2店舗（アルビス高柳店、イオン金沢店）

＊10月の食品ロス削減月間に合わせて実施



基本方針3 食品ロス削減に向けた推進体制の整備

施策（6）関係団体との連携強化

①金沢市食品ロス削減推進協議会の運営

施策（7）庁内関係部局間での連携した施策の実施

①庁内における連携事業等の実施

- ・「金沢版こども宅食推進事業」におけるフードドライブの実施（子育て支援課）
- ・市民講座やパンフレットにおける食品ロス削減事業の啓発（ごみ減量推進課） 等

基本方針4 食品廃棄物の資源循環の推進

施策（8）適正な再生利用の取り組み促進

① 生ごみ堆肥化の促進

- ・電気式生ごみ処理機購入費助成（家庭用）

件数：254 件

- ・ダンボールコンポスト普及促進研修会・出前講座

回数：7回（計76人）

- ・生ごみ循環システムによる堆肥回収 3,514kg

（電気式生ごみ処理機回収 3,299kg、ダンボールコンポスト回収量 215kg）

- ・事業用生ごみ処理機購入費等助成

件数：4 件（リース）



ダンボールコンポスト普及促進研修会・出前講座

令和 8 年度 食品ロス削減推進事業計画（案）

【協議会】

主な内容	開催日
◇令和 8 年度事業の企画、検討、実施	第 1 回 5月20日
◇令和 9 年度事業案の企画、検討	第 2 回 11月（予定）

【事業内容】

基本方針 1 食品ロス発生抑制のための普及啓発

施策（１）暮らしの中での食品ロス削減

- ① 食材使い切り料理教室等の開催
- ② 出前講座（かがやき発信講座）の実施



食材使い切り料理教室

③食品ロス削減啓発バスツアー開催

食品ロス削減に取り組む事業者等をめぐるバスツアーを通じて、市民の食品ロス削減に対する意識向上を図る。

今年度の実施内容

【日時】 7月30日（木）

【対象】 市内在住の小学生・保護者 15組（30人）程度

【視察先】

①西部環境エネルギーセンター：

施設見学、食品ロスの説明、食品ロス削減すごろく

②株式会社 芝寿し：昼食（弁当）、削減取組の紹介 等

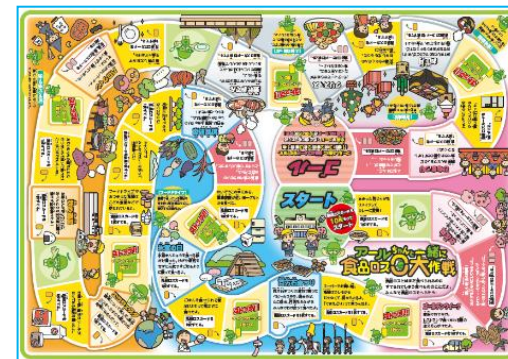
③直源醤油株式会社：工場見学、削減取組の紹介 等



<昨年度の様子>

施策（２）若年者、子どもへの周知啓発

- ① 食材使い切り料理教室等の開催（再掲）
- ② 食品ロス削減啓発バスツアー開催（再掲）
- ③ 食品ロス削減啓発教材を活用した子ども向け出前講座の実施



すごろく（アールちゃんと一緒に食ロス0(ゼロ)大作戦）

基本方針２ 市民・事業者との協働による食品ロス削減の推進

施策（３）未利用食品等の有効活用

- ① フードドライブ受付窓口設置（第二本庁舎、駅西、泉野、元町）
- ② フードドライブ地域受付窓口設置支援



施策（４）食品関連事業者における食品ロスの削減

- ① 「いいね・食べきり推進店」の登録・利用促進
- ② アプリ「TABETE」を活用したフードシェアリングの周知
- ③ 「てまえどり」の推進（小売店での啓発キャンペーン）



ステッカー



アプリ「TABETE」

基本方針3 食品ロス削減に向けた推進体制の整備

施策（５）関係団体との連携強化

- ① 金沢市食品ロス削減推進協議会の運営
- ② 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と連携した事業の実施

施策（６）庁内関係部局間での連携した施策の実施

- ① 庁内における連携事業等の実施

基本方針4 食品廃棄物の資源循環の推進

施策（７）適正な再生利用の取り組み促進

- ① 生ごみ堆肥化の促進
 - ・ 生ごみ処理機購入費等助成（家庭用・事業用）
 - ・ ダンボールコンポスト普及促進研修会・出前講座



ダンボールコンポスト普及促進研修会・出前講座

計画策定の趣旨

- ・まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費の各段階において日常的に廃棄され、大量の「食品ロス※」が発生しています。
- ・食品ロスの発生は、食品そのものが無駄となるだけでなく、その生産から廃棄までに用いられた多くの資源やエネルギーの無駄にもつながるもので、その削減は「持続可能な開発目標(SDGs)」の一つに掲げられており、国際的にも重要な課題です。
- ・この食品ロスの削減に向けて、令和元(2019)年10月に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」に基づき、市民、事業者、行政等の多様な主体の連携により、計画的に食品ロスの削減を推進するため、令和3(2021)年2月に「金沢市食品ロス削減推進計画」を策定しました。

※本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品のこと。(食品廃棄物には食品ロスのほか、魚・肉の骨など食べられない部分が含まれる。)

当初計画：金沢市食品ロス削減推進計画／計画期間：令和3年度～12年度

食品ロスを取り巻く状況の変化

- ① 計画期間の中間年を迎え、当初計画の数値目標を既に達成
- ② 国の「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」の改定
- ③ 感染症等による生活様式の変化や物価高騰の影響等

新たな計画(第2期)の策定

計画の位置づけ

本計画は、「食品ロス削減推進法」第13条第1項に基づく、「市町村食品ロス削減推進計画」として、位置づけます。また、「金沢市ごみ処理基本計画(第7期)」における食品ロス削減に関する事項の個別計画として位置づけるとともに、「金沢市環境基本計画(第3次)」等の関連計画と調和を図ります。

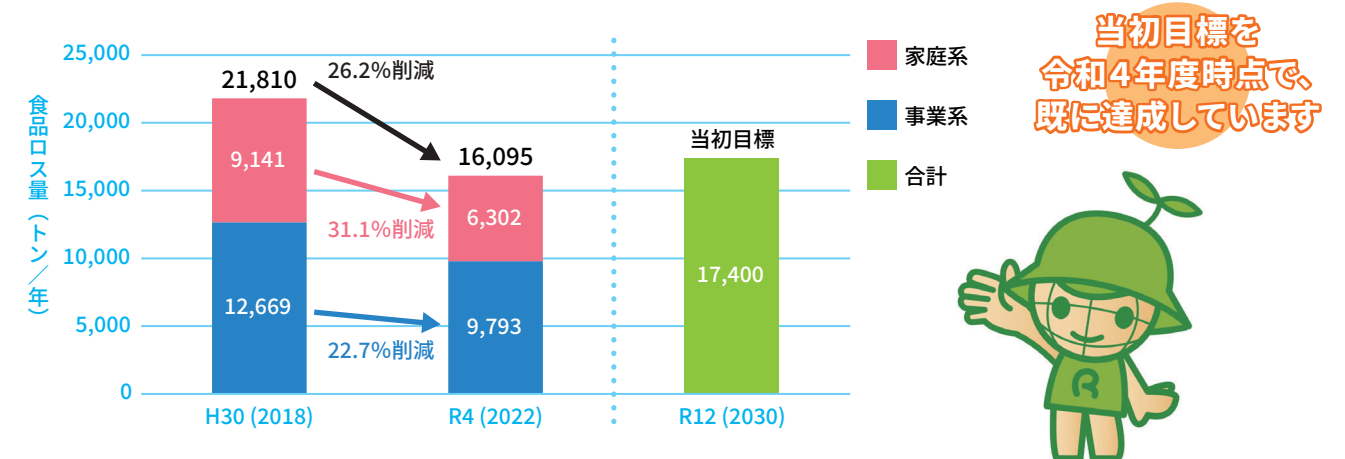
計画の期間

令和8(2026)年度～令和12(2030)年度までの5年間とします。
なお、社会情勢の変化等に応じ、適宜、見直すものとします。

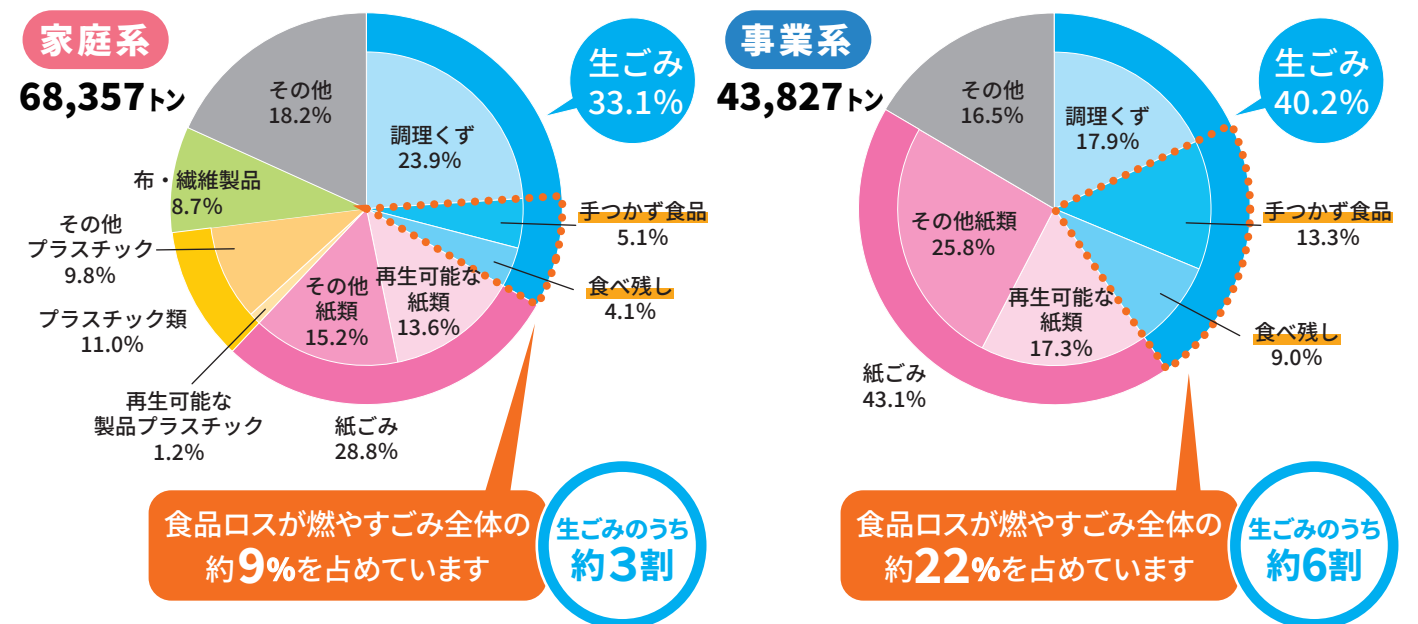
金沢市の食品ロスの現状

令和4(2022)年度に実施した組成調査結果から、本市の食品ロスの量を16,095トン[家庭系：6,302トン 事業系9,793トン]と推計しています。

食品ロス量



燃やすごみの内訳(令和4年度組成調査結果)



市民1人当たり
食品ロス量
1日 約95.8g
(おにぎり1個分に相当)

- ・本市の食品ロス量は減少傾向にありますが、燃やすごみの中には依然として多くの食品ロスが含まれています。
- ・食品ロスは家庭及び事業者の双方から発生しており、その削減のためには食品の生産から、製造、販売、消費に至るサプライチェーン全体で取り組む必要があります。



基本理念

食べ物の“もったいない”がないまち



本計画では、豊かな食文化と食べ物を大切にする意識を持つ私たちが“もったいない”を再認識し、市民・事業者・行政等の相互の連携協力により、食品ロスの削減につながる取り組みを進め、環境負荷の少ない持続可能なまちの実現を目指します。

計画の数値目標

目標年を令和12(2030)年度とし、国の削減目標を踏まえ、新たな数値目標を設定しました。

現状
(R4/2022)

16,095トン

家庭系 6,302トン
事業系 9,793トン

目標年
(R12/2030)

14,900トン

家庭系 5,800トン
事業系 9,100トン

計画の基本方針と主な取組

基本方針

1

食品ロス発生抑制のための普及啓発

市民が、食品ロス削減の必要性を理解し、食品ロスを発生させない行動に移すことができるよう、継続した普及啓発を実施します。

施策①

暮らしの中での食品ロスの削減

施策②

若年者、子どもへの周知啓発

基本方針

3

食品ロス削減に向けた推進体制の整備

市民(消費者)、事業者、関係団体、行政等各主体が積極的に削減対策に取り組むとともに、相互に情報共有及び連携できる体制を整えます。

施策⑤

関係団体との連携強化

施策⑥

庁内関係部局間での連携した施策の実施

基本方針

2

市民・事業者との協働による食品ロス削減の推進

市民・事業者との連携協力のもと、未利用食品の活用や販売、外食等で発生する食品ロスの削減を推進します。

施策③

未利用食品等の有効活用

施策④

食品関連事業者における食品ロスの削減

基本方針

4

食品廃棄物の資源循環の推進

食品ロス削減の対策を実施した上でも生じる食品廃棄物については、適正な再生利用に取り組みます。

施策⑦

適正な再生利用の取り組み促進



各主体に求められる役割と行動

市民(消費者)、事業者、行政等がそれぞれの立場で食品ロスの削減に積極的に取り組むとともに、連携し、計画を推進します。

市民(消費者)※

食品ロスの削減の必要性・重要性について理解を深め、削減を実践

暮らしの中で食べきり、使いきりを実践し、事業者の取り組みを理解するとともに、過度の鮮度志向の見直し等、消費者としてできることに取り組むよう努める。

※市民以外の消費者を含む

事業者

事業活動から発生する食品ロスの削減を実践

- ・過剰生産の防止や、期限の迫った食品の値引き等売り切りの工夫、未利用食品のフードバンクへの提供等、積極的に食品ロスの削減に努める。
- ・市民(消費者)、行政等と連携協力して食品ロス削減の取り組みが推進されるよう努める。

行政

食品ロス削減に向けた施策の実施と推進体制の整備

市民、事業者、関係団体等との連携強化を図り、推進体制を整備するとともに、求められる役割を実践する市民や事業者が増えるよう、各種施策を積極的に実施する。

金沢市のウェブサイトでは、食品ロス削減のために実践できる取り組みや、市が行う施策を紹介しています。

金沢市 食品ロス 検索

